

会議出席報告書

日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規第25条第3項の規定に基づき、下記のとおり報告いたします。

記

1. 会議概要

- 1) 会議の名称 (和文) シンポジウム「若手アカデミーとは何か」
(欧文) Symposium ‘What is Young Academy?’
- 2) 会期 平成22年3月4日から22年3月4日まで (1日間)
- 3) 会議出席者名 唐木英明、塚原東吾、加藤隆行、小林傳司、ルーディガー・クライン、竹村仁美、中村征樹、駒井章治、田中由浩、渡辺向陽
- 4) 会議開催地 大阪大学 中之島センター佐治敬三メモリアルホール
- 5) 参加状況 (参加国数、参加者数、日本人参加者) 2カ国、20名、19名
- 6) 会議内容

・ 日程及び会議の議題

3月4日 (木)

司会進行 塚原東吾 (神戸大学大学院国際文化科学研究科教授 若手アカデミー委員会委員)
13:00 唐木英明 (日本学術会議副会長、日本学術会議若手アカデミー委員会委員長) より挨拶

13:45 ルーディガー・クライン (欧州科学人文学術会議連合 (ALLEA: All European Academies) 事務局長)による講演「ヨーロッパの若手アカデミーについて」

14:15 加藤 隆行 (日本学術振興会国際事業部研究協力第二課長) による講演「JSPSにおける若手研究者向け国際交流事業の紹介」

14:30 報告及び提案

中村 征樹 (大阪大学大学教育実践センター准教授) : 「日本学術会議における若手アカデミー委員会、ベルリンワークショップ出張の概要及びドイツの若手アカデミーに関する報告」

竹村仁美 (九州国際大学准教授) : 「ベルリンワークショップ初日の様子・オランダの若手アカデミーに関する報告」

田中 由浩 (名古屋工業大学 (おもひ領域) 助教) : 「ベルリンワークショップ2日目及び3日目に関する報告」

駒井 章治 (奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科准教授) : 「ベルリンワークショップを踏まえて：国内の若手アカデミーのブループリントに関する報告」

15:50 会場との質疑応答も交えたパネルディスカッション

(ルーディガー・クライン、中村征樹、竹村仁美、駒井章治、田中由浩、渡辺向陽)

16:00 小林 傳司（大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授、日本学術会議連携会員）

2. 会議の様様

参加者は20名前後と少なかつたものの、若手アカデミーという主題に関心のある参加者を前に、若手アカデミーの意義及び課題についてベルリンワークショップを踏まえて日本学術会議若手アカデミー委員会の若手委員四名による報告が行われた。また、ドイツからALLEA事務局長のルーディガー・クライン教授を迎えて欧州における若手アカデミーの設立についての情報を共有するところとなつた。質疑応答も交えたパネルディスカッションの時間には、ベルリンワークショップにフィンランド代表の日本人として参加していた渡辺向陽フィンランド・オウル大学計測研究所主任研究員が日本の若手研究者の直面している問題と若手アカデミーの意義について意見を述べた。

今回のシンポジウムを通じて、日本学術会議若手アカデミー委員会の若手委員四名がベルリンワークショップにおいて携わつたGYA（グローバル・ヤング・アカデミー）という世界規模の若手アカデミーの設立の意義とともに、国内若手アカデミー委員会の意義と設置へ向けた課題を、会場の参加者に対し広く告知することができたことは大きな収穫であつた。

次回開催予定 未定